

# 広島市植物公園 見どころ案内

## 水琴窟と苔庭

茶室前の水琴窟と13種類の苔を展示しています。

## プルメリア (キョウチクトウ科)

熱帯アメリカ原産の常緑低木で、タヒチやハワイなどではこの花が好んでレイに使われます。

## 夏のカラフルリーフ展

展示温室にて斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を紹介。7月17日まで開催しています。

## 大温室改修のため休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

## 巨大ハンキングバスケット

白いカラジウムを基調にして、ペンタス、オカメツタを組み合わせ、夏バージョンに仕上げました。

日本ハンキングバスケット協会  
ハンキングバスケットマスター作

## アサザ (ミツガシワ科)

ユーラシア大陸～日本原産の水草で、夏に黄色い花を咲かせます。近年、護岸工事などで数が減りつつあります。

## クチナシ (アカネ科)

日本を含む東アジア原産の常緑低木で、香りの良い白い花を咲かせています。

## スズランノキ (ツツジ科)

北米東部の原産で、スズランのようなランプ状の花をつけています。

## アサガオのカーテン

(ヒルガオ科)  
ツルが伸び、最上部まであと一息でたどり着きます。  
アサガオの1品種‘オーシャンブルー’です。

## 冬虫夏草展

6/17(土)～8/17(木)  
中国で古く「冬は虫として動き回り、やがて夏になれば草(キノコ)に変わる不思議な生き物」と思われていた、昆虫やクモなどに寄生するキノコの仲間の標本や写真を展示しています。

## アガパンサス

(ヒガンバナ科)  
梅雨の蒸し暑い中、薄紫の花が見頃を迎えています。

## 夏咲きの洋ラン

(ラン科)  
南米コロンビア原産のカトレヤ・ワーセウィッチや中央アメリカ原産のリンコレリア・ディグビアナなど、野生のものとは思えないほど豪華な野生ランが咲いています。

